

レジメン名	m-FOLFOX6 + オプジーボ
対象疾患名	胃がん
1クールの日数	14日
催吐性リスク	中等度
その他注意事項	

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食	50mL	点滴静注	5分	day 1
2	生食 オプジーボ(NIVO)注	100mL 240mg		30分	
3	生食	50mL		15分	
4	グラニセトロン注 デキサート注	1mg 50mL 9.9mg		15分	
5-a	ブドウ糖 エルプラット (L-OHP)注	500mL 85mg/m ²		2時間 (bと同時)	
5-b	ブドウ糖 レボホリナート注	250mL 200mg/m ²		2時間 (aと同時)	
6	ブドウ糖 5-FU注	50mL 400mg/m ²		5分	
7	生食 5-FU注	適宜 2400mg/m ²	点滴静注 (持続)	46時間	day 1-3

【化学療法による主な副作用】 悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、倦怠感、口内炎、骨髄抑制、肝障害、末梢神経障害、アレルギー

【免疫療法による主な副作用】 間質性肺炎、大腸炎、肝障害、腎障害、皮膚障害、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、1型糖尿病、重症筋無力症、神経障害、Infusion reaction

【その他注意事項】

●5-FU: ワーファリン、フェニトインと薬物相互作用あり(併用薬の作用増強)。

●L-OHP: アレルギーは7~8回目で起こりやすい。

●NIVO: 免疫療法施行前に必要な検査を行う。胸部XP、心電図、造影CT検査も実施する。ルーチン検査 + 以下の検査を1~3ヶ月ごとに施行する。

・間質性肺炎: KL-6 SP-D 胸部CT

・甲状腺機能障害: TSH FT4 FT3

・下垂体機能障害・副腎不全: ACTH コルチゾール

・1型糖尿病: 血糖 HbA1c C-ペプチド

・大腸炎: 内視鏡検査 造影CT

・肝障害: エコー 造影CT